

情報解禁日時：令和5年2月21日10時(厳守)

この資料は、四国各県の県政記者クラブ、高松経済記者クラブ、四国交通記者クラブで同時に発表されます。

令和5年2月21日（火）
（一社）四国ツーリズム創造機構
担当：清水・中村
TEL 087-813-0433

四国ツーリズム創造機構が制作した観光動画

「THE FACES OF SHIKOKU」が

日本地域情報コンテンツ大賞 2022 の大賞に選ばれました。



後援：内閣府 / 経済産業省 / 農林水産省 / 観光庁
(公社)日本観光振興協会

当機構が2021年度に制作した観光動画「THE FACES OF SHIKOKU」が、一般社団法人日本地域情報振興協会が主催する日本地域情報コンテンツ大賞2022の大賞に選出されました（耕Life編集部様の「人生を耕すためのライフスタイルマガジン 耕Life」と同時受賞です。）。

当機構の「THE FACES OF SHIKOKU」は、四国遍路という唯一無二のコンテンツで全体を貫き、四国各地の魅力あふれる自然、文化や食を代表する人々を「四国の顔」としてプロモーションした観光動画です。インバウンド（特に欧米豪のモダンラグジュアリー層がターゲット）の好みに合うよう、文字情報を少なくするとともに、「ディテール」、「素材」、「質感」を重視したトーンの細部と、雄大な自然が感じられる広角ショットを組み合わせ、ノリの良い音楽の強弱と「鈴（リン）」の音が、「メリハリのある流れ」のある映像にしています。また、ドローンを活用しつつ、四国の方々の思う「四国とは」を一言で表現してもらっており、四国の魅力がギュッと詰まった1本です。

今回の選出を励みに、四国の広域観光推進の舵取り役として、「四国～Shikoku～」ブランドの確立に向けた積極的な取組みを引き続き進めてまいります。

以下、審査のコメントです。

「四国遍路という唯一無二のコンテンツを中心に、3分16秒で四国全域の観光資源がリズム感よく紹介されている。国内だけではなく、今後海外のインバウンドマーケットに対しての情報発信も考慮し、外国人のディレクターを起用。「ディテール」「素材」「質感」「音楽」等高いクオリティで演出され見ごたえのある映像となっている。登場する人たちのセリフもキーワードを中心に短いのが故に記憶に残る。どこから見ても、切っても楽しめる映像で、今後様々な自治体の動画制作の参考になる作品になることであろう。」

動画は下記のURLまたはQRコードからご覧ください。当機構のホームページからご覧いただけます。

Youtube：<https://www.youtube.com/watch?v=UBWxBRaffT8>

当機構HP：<https://shikoku-tourism.com/>



(裏面あり)

【日本地域情報コンテンツ大賞 とは】

一般社団法人日本地域情報振興協会[NiCoA]が主催する、全国各地の地域密着型メディア（有料誌やフリーペーパー及びWeb・動画）に参加を募り、参加媒体を誌面クオリティや読者の支持など、多彩な視点から審査。評価の高い媒体を選定して表彰するイベントです。

【日本地域情報コンテンツ大賞2022について】

合計 486 件（動画 33 件）の応募の中で、当機構の「THE FACES OF SHIKOKU」と耕Life編集部様の「人生を耕すためのライフスタイルマガジン 耕Life」が、全エントリー媒体のなかで最も優れたものとして、最高賞である大賞を受賞しました。

授賞式：2022年11月28日（月）

後援：内閣府／経済産業省／観光庁／農林水産省／公益社団法人日本観光振興協会

特別協賛企業：シヤチハタ株式会社／ゴールドスワンキャピタル株式会社

協賛企業：総合商研株式会社

協力：JIMC／日本地域メディアネットワーク

特別審査員：隈研吾 氏（建築家、東京大学特別教授・名誉教授）

審査員：富川淳子 氏（日本出版学会会長、跡見学園女子大学 文学部現代文化表現学科 教授）

坂井滋和 氏（早稲田大学 基幹理工学部 表現工学科 教授）ら有識者5名

公式ウェブサイト：<https://award.nicoanet.jp/outline/2022/>



大賞の賞状と盾



動画サムネイル